

学校訪問シリーズ 67

大分市立丹生小学校から学ぶ 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「夢に向かって 学び合い 心豊かに たくましく生きる丹生っ子の育成」を達成するため、「いい声・いい顔・いい心」を合言葉に、育成を目指す資質・能力を明確にした実践を、分掌部会と学年部会を中心に組織的に行っています。

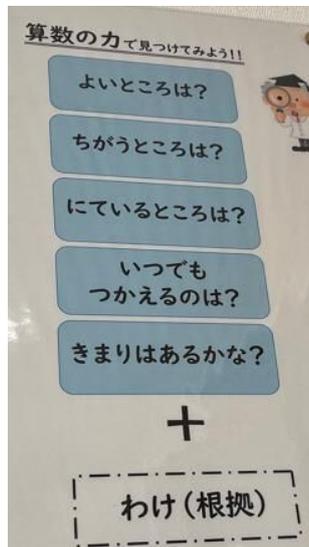
本校の注目すべき点は、学校経営計画表における取組指標をだれが、いつ、何をやるかを明確にしていると共に、責任者も記載し学校経営の参画意識を高めている点です。そのため、進行管理も短期で行われ、成果は青色で、課題は赤色で示されており、より焦点化された実践が計画的に行われています。また、児童会とも連携した取組もすすみ、掃除においては縦割り班に加え、子ども自身が自ら掃除をする場所を決めるプラス1行動を行う等、自治的、発展的な活動となっています。



授業から学ぶ

4年生算数では、学校が同時に習熟度別のコースをつくり、きめ細やかな指導を行っています。それぞれ学び合い等を取り入れながら、その効果も表れていました。また、全ての授業において、本時のねらいは「3文」で示されており、内容も明確でした。

今後は、学び合いを行う際の教師の立ち位置については、より俯瞰的に見ることで、それぞれの学び合いの様子を評価し、次への活動に活かされるとよいと感じました。



NO.396 2022年11月 大分市立丹生小学校

相手軸で

自分の思いを伝えるためには、相手がわかるように説明する必要があります。



NO.395 2022年11月 大分市立丹生小学校

発表できる

自信をもって説明できるのは、友達と学び合ったから。そして、聴いてくれる友達がいるから。



NO.394 2022年11月 大分市立丹生小学校

高いアンテナ

友達の困りに気がいたら、自分から行動する。相手の気持ちを考えて優しく教える。



NO.393 2022年11月 大分市立丹生小学校

できる・わかる

できるようになると、自信がつく。なぜ、できるのかを深く考えると、その意味がわかってくる。